

競 技 注 意 事 項

- 2021年 日本陸上競技連盟競技規則により競技を行う。
- 感染症対策に関して
 - 競技中・ウォームアップ中以外は、マスクを着用すること。
 - 手洗い・手指消毒の徹底。(各自、各チーム内でも準備すること)
 - 集団での応援、声を出しての応援の禁止。(拍手での応援)
 - 体調チェック表の提出。(提出が無い場合は、出場できない)
 - 無観客での大会とする。(ライブ配信あり。陸協 HP 確認)

3. 招集について

(1) 招集時間

トラック競技	種目によって招集開始時間及び招集完了時間が異なるので 裏表紙の競技時間表を参照のこと。
フィールド競技	

(2) 招集所は以下の場所に設けるので、よく確認すること。

トラック競技	第1ゲート(ゴール側ゲート)外、招集所。		
フィールド競技	投てき	第2ゲート(1500mスタート地点)外、倉庫	
	跳躍	幅・三段・走高	第4ゲート(100mスタート側ゲート)
		棒高	競技地点(現地)

競技場内への誘導(入場)は行なわないので、各自で競技地点に行くこと。

- 招集は必ず本人が行い、代理人による招集は認めない。遅れた者は出場を認めない。但し、同時刻に他種目に出場する場合は、その旨をあらかじめ招集所に申し出る。
- 電子機器類の競技場への持込を禁止する(携帯電話、ミュージックプレーヤー等)。招集所で持ち物をチェックする。
- リレー種目は、オーダー用紙を招集完了時刻の1時間前までに招集所へ提出すること。
棄権する場合は、その旨を口頭で招集所へ届け出ること。
(オーダー用紙・オーダー変更届け用紙はTICに設置してあります)

4. 競技について

- ビデオ監視システムを併用し判定を行なうことがある。
 - スパイクのピンは、全天候性走路のためトラックは9mm、フィールドは12mm以下のものを使用すること。
 - シューズ規定(厚底シューズ)は、日本陸連競技規定(TR5)を適用する。
・フィールド競技用シューズ規定(TR5.5)は、適用しない。(記録は公認記録として、認められる)
 - 800m以上のトラック種目は、招集所において、腰ナンバーカード(白色)を受け取り右腰斜め後方に着用すること。(レース後に係員に返却のこと)
 - 5000m・10000m・5000mWは、周回記録用腰Noカード(黄色・チップ付)を貸与するので、左腰に着用すること。競技終了後、係員へ返却すること。
 - 5000m競歩・5000m(第3組)・10000mは、男女同時スタートとする。
- ※招集所において「レーンNoビブス」を受け取り胸部・背部へ着用すること。ゴール後返却すること。

- (7) 1500m 以上の長距離競技において、競技運営に支障をきたす場合は競技を中止させることがある。
- (8) 5000m 競走において、4000m までに周回遅れとなった場合は、競技を中止させる。
- (9) トラック競技とフィールド競技を兼ねる選手は、トラック競技を優先とする。但し、その場合は必ずフィールド審判員に申し出て許可を受けること。
- (10) バーの上げ方、計測ラインについて。(天候等により変更あり)

<走高跳>

	(練習)			(開始)						
男子	1.75	1.85	2.00	1.80	1.85	1.90	1.95	2.00	2.03	(以後 3cm)
女子	1.40	1.50	1.60	1.45	1.50	1.55	1.60	1.63		(以後 3cm)

<棒高跳>

	(練習)			(開始)						
男子	3.90	4.50	5.10	4.00	4.20	4.40	4.50			(以後 10cm)
女子	2.20	2.70	3.20	2.30	2.50	2.60				(以後 10cm)

<フィールド計測ライン> (天候により変更あり)

	男子	女子
走幅跳	6m50 5m50(少年 B)	5m00
三段跳	13m00	10m30
砲丸投	10m00 10m00(少年)	9m00
円盤投	38m00 30m00(少年)	28m00
ハンマー投	25m00(少年)	30m00
やり投	55m00	33m00

※上記以外は計測ラインを設けない。

- (11) 走幅跳・三段跳のピットは、メインスタンド側より Aピット、Bピットとする。
 - ・三段跳の踏み切り版は、男子 12m、女子 10m とする。
 - ・グラウンドのレベルの表記は、第 1 曲走路側を Aゾーン、第 2 曲走路側を Bゾーンとする。
- (12) 投てきの練習は、メイン競技場内のみとし、競技場周辺や補助競技場での練習は厳禁とする。
- (13) 雨天練習場については下記を守ること。

○人と人の間隔など、感染症対策を取り使用すること

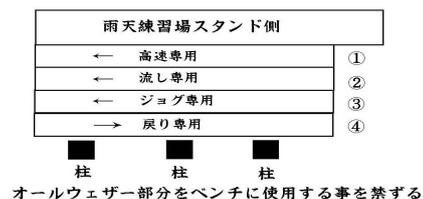
○スタンド側の 1 レーンは、高速専用とする。

○2 レーンは流し、3 レーンは Jog 専用とする。

○外側のレーンは戻り専用とする。

○オールウェザー一部分上にチームのベンチを設置することを禁止する。

○多目的広場側アスファルト通路部分はベンチとして使用を認める。



(14) 競技場内へは、出場する選手以外の立ち入りを禁止する。

(15) 競技会での怪我は応急処置のみで、以後の責任はもたない。

5. 表彰について

○上位3位までの選手を表彰する。

○4位から8位までの入賞者はメインスタンド1階エントランスまで表彰状を取りに来ること。

東海選手権出場希望者は本大会開催中にエントリーをすること。後日のエントリーは認めない。

6. その他

○メインスタンド1階の入場はIDカード着用者のみとする。

○横断幕は芝生スタンド及びバックスタンドの手摺のみ可能とする。(最前列は禁止)

○競技場・スタンド席など使用施設は汚さないように気をつけ、ゴミは各チームで責任をもって持ち帰ること。

○更衣室は、TICで許可証を申請し、使用のこと。

○貴重品等、持ち物の保管は各自で責任を持つこと。

○ゴール後の動線について

・直線競技は第1ゲートよりメインスタンド外周通路を通り退場すること。

・その他のトラック競技は、ダッグアウト通路を使用せず、スタート位置に戻ることに。

○防水塗装保護のため、2階コンコースへベンチを設置する場合は粘着テープの使用は禁止する。

また、スタンド入口側(トイレ側)は非常用通路とするので、ベンチの設置は禁止する。

タープテント等の簡易テントの設置は、バックスタンドのみ可とする。

○補助競技場内でのチームベンチの設置は禁止する。